

(12) 特許協力条約に基づいて公開された国際出願

(19) 世界知的所有権機関
国際事務局

(43) 国際公開日
2014年3月27日(27.03.2014)



(10) 国際公開番号
WO 2014/045443 A1

- (51) 国際特許分類:
G06Q 50/22 (2012.01) *G06Q 40/08* (2012.01)
- (21) 国際出願番号: PCT/JP2012/074410
- (22) 国際出願日: 2012年9月24日(24.09.2012)
- (25) 国際出願の言語: 日本語
- (26) 国際公開の言語: 日本語
- (71) 出願人: 楽天株式会社 (Rakuten, Inc.) [JP/JP]; 〒1400002 東京都品川区東品川四丁目1番3号 Tokyo (JP).
- (72) 発明者: 柴田 充 (SHIBATA, Mitsuru); 〒1400002 東京都品川区東品川四丁目1番3号 楽天株式会社内 Tokyo (JP).
- (74) 代理人: 特許業務法人はるか国際特許事務所 (HARUKA PATENT & TRADEMARK ATTORNEYS); 〒1600023 東京都新宿区西新宿三丁目1番4号 ウエル新都心ビル4階 Tokyo (JP).
- (81) 指定国 (表示のない限り、全ての種類の国内保護が可能): AE, AG, AL, AM, AO, AT, AU, AZ, BA, BB, BG, BH, BN, BR, BW, BY, BZ, CA, CH, CL, CN, CO, CR, CU, CZ, DE, DK, DM, DO, DZ, EC, EE, EG, ES,

FI, GB, GD, GE, GH, GM, GT, HN, HR, HU, ID, IL, IN, IS, JP, KE, KG, KM, KN, KP, KR, KZ, LA, LC, LK, LR, LS, LT, LU, LY, MA, MD, ME, MG, MK, MN, MW, MX, MY, MZ, NA, NG, NI, NO, NZ, OM, PA, PE, PG, PH, PL, PT, QA, RO, RS, RU, RW, SC, SD, SE, SG, SK, SL, SM, ST, SV, SY, TH, TJ, TM, TN, TR, TT, TZ, UA, UG, US, UZ, VC, VN, ZA, ZM, ZW.

- (84) 指定国 (表示のない限り、全ての種類の広域保護が可能): ARIPO (BW, GH, GM, KE, LR, LS, MW, MZ, NA, RW, SD, SL, SZ, TZ, UG, ZM, ZW), ユーラシア (AM, AZ, BY, KG, KZ, RU, TJ, TM), ヨーロッパ (AL, AT, BE, BG, CH, CY, CZ, DE, DK, EE, ES, FI, FR, GB, GR, HR, HU, IE, IS, IT, LT, LU, LV, MC, MK, MT, NL, NO, PL, PT, RO, RS, SE, SI, SK, SM, TR), OAPI (BF, BJ, CF, CG, CI, CM, GA, GN, GQ, GW, ML, MR, NE, SN, TD, TG).

規則 4.17 に規定する申立て:

- 不利にならない開示又は新規性喪失の例外に関する申立て (規則 4.17(v))

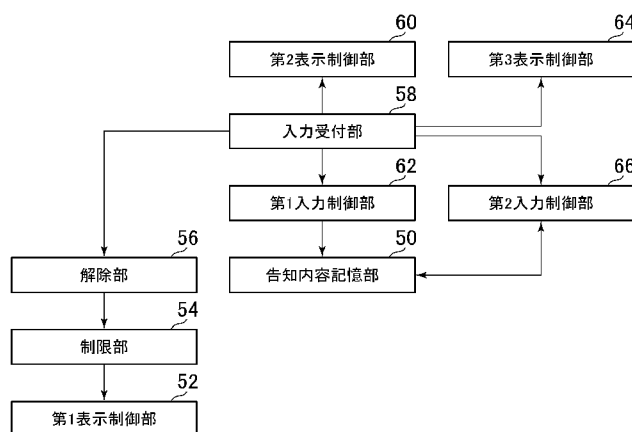
添付公開書類:

- 国際調査報告 (条約第 21 条(3))

(54) Title: INFORMATION PROCESSING DEVICE, METHOD FOR CONTROLLING INFORMATION PROCESSING DEVICE, PROGRAM, AND WEB SERVER

(54) 発明の名称: 情報処理装置、情報処理装置の制御方法、プログラム、及びウェブサーバ

[図6]



- 50 NOTIFICATION CONTENT RECORDING UNIT
52 FIRST DISPLAY CONTROL UNIT
54 LIMITING UNIT
56 CANCELLING UNIT
58 INPUT RECEPTION UNIT
60 SECOND DISPLAY CONTROL UNIT
62 FIRST INPUT CONTROL UNIT
64 THIRD DISPLAY CONTROL UNIT
66 SECOND INPUT CONTROL UNIT

(57) Abstract: The display control means (52) of this information processing device (1) causes the display at a screen of the respective input forms of a plurality of notification items pertaining to the state of health of an insurance policyholder. A reception means (58) receives user input of notification contents to each input form. A first input control means (62) causes the input, to the input form to which the user has input notification contents, of said notification contents. When the user inputs notification contents to the input form of one of the plurality of notification items, a second input control means (66) causes the input to said input form of the notification contents input to the input form of another notification item associated with said notification item.

(57) 要約: 情報処理装置 (1) の表示制御手段 (52) は、保険契約者の健康状態に関する複数の告知項目の各々の入力フォームを画面に表示させる。受付手段 (58) は、各入力フォームに対する、ユーザによる告知内容の入力を受け付ける。第1入力制御手段 (62) は、ユーザが告知内容を入力した入力フォームに、当該告知内容を入力する。第2入力制御手段 (66) は、複数の告知項目のうちの何れかの入力フォームに対してユーザが告知内容を入力する場合、当該入力フォームに、当該告知項目に関連付けられた他の告知項目の入力フォームに入力された告知内容を入力する。

明 細 書

発明の名称：

情報処理装置、情報処理装置の制御方法、プログラム、及びウェブサーバ
技術分野

[0001] 本発明は、情報処理装置、情報処理装置の制御方法、プログラム、及びウェブサーバに関する。

背景技術

[0002] 従来、生命保険や医療保険等の契約者の健康状態に関する告知内容の入力を受け付ける情報処理装置が知られている。例えば、特許文献1には、ユーザが申し込む保険の種類に基づいて、当該ユーザが入力すべき告知項目をカスタマイズする技術が記載されている。

先行技術文献

特許文献

[0003] 特許文献1：特開2003-67577号公報

発明の概要

発明が解決しようとする課題

[0004] ユーザが保険に申し込む際には種々の告知項目について告知内容を入力しなければならないが、従来の技術では、ユーザに同じ内容を繰り返し入力させることが多く、ユーザの負担になっていた。

[0005] 本発明は、上記課題に鑑みてなされたものであって、その目的は、保険の告知内容をユーザが入力する際の負担を軽減することが可能な情報処理装置、情報処理装置の制御方法、プログラム、及びウェブサーバを提供することである。

課題を解決するための手段

[0006] 上記課題を解決するために、本発明に係る情報処理装置は、保険契約者の健康状態に関する告知内容の入力を受け付ける情報処理装置であって、複数

の告知項目の各々の入力フォームを画面に表示させる表示制御手段と、各入力フォームに対する、ユーザによる告知内容の入力を受け付ける受付手段と、前記ユーザが告知内容を入力した入力フォームに、当該告知内容を入力する第1入力制御手段と、前記複数の告知項目のうちの何れかの入力フォームに対して前記ユーザが告知内容を入力する場合、当該入力フォームに、当該告知項目に関連付けられた他の告知項目の入力フォームに入力された告知内容を入力する第2入力制御手段と、を含むことを特徴とする。

[0007] 本発明に係る情報処理装置の制御方法は、保険契約者の健康状態に関する告知内容の入力を受け付ける情報処理装置の制御方法であって、複数の告知項目の各々の入力フォームを画面に表示させる表示制御ステップと、各入力フォームに対する、ユーザによる告知内容の入力を受け付ける受付ステップと、前記ユーザが告知内容を入力した入力フォームに、当該告知内容を入力する第1入力制御ステップと、前記複数の告知項目のうちの何れかの入力フォームに対して前記ユーザが告知内容を入力する場合、当該入力フォームに、当該告知項目に関連付けられた他の告知項目の入力フォームに入力された告知内容を入力する第2入力制御ステップと、を含むことを特徴とする。

[0008] 本発明に係るプログラムは、保険契約者の健康状態に関する告知内容の入力を受け付けるコンピュータを、複数の告知項目の各々の入力フォームを画面に表示させる表示制御手段、各入力フォームに対する、ユーザによる告知内容の入力を受け付ける受付手段、前記ユーザが告知内容を入力した入力フォームに、当該告知内容を入力する第1入力制御手段、前記複数の告知項目のうちの何れかの入力フォームに対して前記ユーザが告知内容を入力する場合、当該入力フォームに、当該告知項目に関連付けられた他の告知項目の入力フォームに入力された告知内容を入力する第2入力制御手段、として機能させる。

[0009] 本発明に係るウェブサーバは、上記プログラムをコンピュータに送信する手段を含むことを特徴とする。

[0010] また、本発明の一態様では、前記情報処理装置は、前記複数の告知項目の

うちの何れかの入力フォームに対して前記ユーザが告知内容を入力する場合、当該告知項目に関連付けられた一又は複数の他の告知項目の入力フォームに入力された告知内容を前記画面に表示させる手段と、当該表示された告知内容のうちから前記ユーザによる選択を受け付ける手段と、を更に含み、前記第2入力制御手段は、前記入力フォームに、前記表示された告知内容のうちから前記ユーザにより選択された告知内容を入力する、ことを特徴とする。

[0011] また、本発明の一態様では、前記情報処理装置は、前記複数の告知項目のうちの何れかの入力フォームに対して前記ユーザが告知内容を入力する場合、当該入力対象の告知項目に関連付けられた他の告知項目の入力フォームに入力された告知内容が、当該入力対象の告知項目に係る内容であるか否かを判定する判定手段と、前記判定手段の判定結果に基づいて、前記第2入力制御手段による処理を実行するか否かを決定する手段と、を更に含むことを特徴とする。

[0012] また、本発明の一態様では、前記受付手段は、前記保険契約者の傷病の治療内容又は検査の検査内容について、前記ユーザによる入力を受け付け、前記判定手段は、前記入力対象の告知項目に関連付けられた他の告知項目の入力フォームに入力された前記傷病の治療内容又は前記検査の検査内容が、前記入力対象の告知項目に係る内容であるか否かを判定する、ことを特徴とする。

[0013] また、本発明の一態様では、前記受付手段は、前記保険契約者の傷病の名称又は検査の名称について、前記ユーザによる入力を受け付け、前記判定手段は、前記入力対象の告知項目に関連付けられた他の告知項目の入力フォームに入力された前記傷病の名称又は前記検査の名称が、前記入力対象の告知項目に係る名称であるか否かを判定する、ことを特徴とする。

[0014] また、本発明の一態様では、前記受付手段は、前記保険契約者の傷病の治療期間又は検査の検査期間について、前記ユーザによる入力を受け付け、前記判定手段は、前記入力対象の告知項目に関連付けられた他の告知項目の入

カフォームに入力された前記傷病の治療期間又は前記検査の検査期間が、前記入力対象の告知項目に係る期間であるか否かを判定する、ことを特徴とする。

[0015] また、本発明の一態様では、前記情報処理装置は、前記複数の告知項目のうちの何れかの入力フォームに対して前記ユーザが告知内容を入力する場合、複数の告知内容候補を前記画面に表示させる候補表示制御手段を更に含み、前記受付手段は、前記複数の告知内容候補のうちから前記ユーザによる選択を受け付けることによって、前記ユーザによる告知内容の入力を受け付け、前記候補表示制御手段は、前記入力対象の告知項目に関連付けられた他の告知項目の入力フォームに入力された告知内容候補を、他の告知内容候補よりも優先的に表示させる、ことを特徴とする。

[0016] また、本発明の一態様では、前記情報処理装置は、各入力フォームに対する、前記ユーザによる前記告知内容の入力を制限する手段と、前記複数の告知項目の各々に関連付けられた解除操作が行われた場合、当該告知項目の入力フォームに対する入力の制限を解除する手段と、入力の制限が解除された入力フォームに対して前記ユーザが告知内容を入力した場合、当該入力された告知内容が、他の告知項目に係る内容であるか否かを判定する手段と、当該手段の判定結果に基づいて、前記他の告知項目の解除操作が行われたものとみなす手段と、を更に含むことを特徴とする。

発明の効果

[0017] 本発明によれば、保険の告知内容をユーザが入力する際の負担を軽減することが可能になる。

図面の簡単な説明

[0018] [図1]保険契約システムの全体構成を示す図である。

[図2]ユーザが告知内容を入力するための告知内容入力画面の一例を示す図である。

[図3]「はい」を示すラジオボタンが選択された場合の告知内容入力画面の一例を示す図である。

[図4]「はい」を示すラジオボタンが選択された場合の告知内容入力画面の一例を示す図である。

[図5]名称入力フォームがフォーカスされた場合の告知内容入力画面の一例を示す図である。

[図6]情報処理装置によって実現される機能を示すブロック図である。

[図7]一の告知項目と他の告知項目との関連付けを示す図である。

[図8]情報処理装置において実行される処理の一例を示すフロー図である。

[図9]情報処理装置において実行される処理の一例を示すフロー図である。

[図10]情報処理装置において実行される処理の一例を示すフロー図である。

[図11]変形例における機能ブロック図である。

[図12]各告知項目に定められた条件の一例を示す図である。

発明を実施するための形態

[0019] [1. 実施形態]

以下、本発明に係る実施形態について、図面に基づき詳細に説明する。本発明に係る情報処理装置は、パーソナルコンピュータ、携帯電話機（スマートフォン）、携帯情報端末（PDA）等の種々のコンピュータに適用可能である。なお、以降説明する実施形態では、本発明に係る情報処理装置を含む保険契約システムについて説明する。

[0020] [2. 保険契約システムのハードウェア構成]

図1は、保険契約システムの全体構成を示す図である。図1に示すように、保険契約システムSは、情報処理装置1とウェブサーバ2とを含む。保険契約システムSに含まれる各装置は、ネットワークを介してデータ通信可能に接続される。

[0021] 情報処理装置1は、制御部10と、記憶部11と、操作部12と、表示部13と、入力部14と、通信部15と、から構成される。なお、情報処理装置1は、図示しない他の構成を含んでいてもよい。

[0022] 制御部10は、例えば、CPU等を含んで構成される。制御部10は、記憶部11に記憶されたプログラムを実行して各種処理を行ったり、通信部1

5を介して情報処理装置1と各種データの送受信を行ったりする。記憶部11は、例えば、ハードディスクやRAM等のメモリを含んで構成される。記憶部11は、ゲームプログラム等の各種プログラムや各種データ等を記憶する。

[0023] 操作部12は、マウス及びキーボード等を含み、ユーザの操作内容を制御部10に伝達する。表示部13は、液晶表示パネル等を含み、制御部10の指示により各種画面を表示する。入力部14は、DVD再生装置等を含み、外部記憶装置から各種データを入力する。通信部15は、例えば、ネットワークカード等の通信装置である。

[0024] ウェブサーバ2は、例えば、公知のサーバコンピュータである。例えば、ウェブサーバ2は、情報処理装置1からの要求に応じて、HTMLデータを情報処理装置1に送信する。情報処理装置1は、ウェブサーバ2から受信したHTMLデータに基づいて各種画面を表示部13に表示させたり、HTMLデータに含まれるJavaScript（登録商標）を実行したりする。

[0025] ウェブサーバ2は、制御部20と、記憶部21と、通信部22とを含む。制御部20と記憶部21と通信部22とは、それぞれ制御部10と記憶部11と通信部15と同様のハードウェア構成であるので、説明を省略する。ここでは、記憶部21は、HTMLデータ等を記憶するコンピュータ読み取り可能な情報記憶媒体であり、通信部15は、JavaScriptを含むHTMLデータを情報処理装置1に送信する手段として機能する。なお、ウェブサーバ2は、他にも図示しないキーボード、モニタ、情報記憶媒体の読取装置等を含んでいてもよい。

[0026] 保険契約システムSにおいては、情報処理装置1は、ウェブサーバ2から受信したHTMLデータに基づいて、ユーザが保険契約の申し込みを行うためのウェブページをウェブブラウザに表示させる。ユーザは、当該ウェブページから各種入力を行うことによって、保険契約の申し込みを行うことになる。なお、ユーザが申し込む保険としては、公知の種々の保険が適用可能であり、例えば、生命保険、医療保険、健康保険、がん保険、死亡保険等であ

る。

[0027] 例えば、ユーザは、下記の手順で保険契約の申し込みを行う。ユーザが下記の手順１～手順５を順番に行うと、ウェブブラウザから入力された情報がウェブサーバ２に対して送信され、保険の契約の申し込みが完了する。

（手順１）保険契約者（被保険者）の氏名や住所等の個人情報を入力する。

（手順２）規約等の重要事項を確認する。

（手順３）保険契約者の健康状態に係る各種告知内容について入力する。

（手順４）保険料の支払方法を選択する。

（手順５）入力した情報の最終確認を行う。

[0028] 告知内容とは、現在又は過去における保険契約者の傷病（障害や後遺症を含む）又は検査に係る情報である。ユーザが入力すべき告知内容は、複数の種類が用意されており、例えば、保険契約者の傷病名又は検査名、傷病の治療期間又は検査の検査期間、傷病又は検査の現在の状況、傷病の治療内容又は検査の検査内容、治療又は検査を受けた医療機関名、及び、傷病又は検査の詳細等である。なお、ウェブブラウザから告知内容を入力するユーザは、保険契約者と同一人物であってもよい異なる人物であってもよい。

[0029] 図２は、ユーザが告知内容を入力するための告知内容入力画面の一例を示す図である。図２に示すように、告知内容入力画面３０は、保険契約者の健康状態に関する質問３１Ａ～３１Ｈ（以降、これらをまとめて単に質問３１ともいう。）と、当該質問に対する回答をユーザが選択するためのラジオボタン３２Ａ～３２Ｈ（以降、これらをまとめて単にラジオボタン３２ともいう。）と、を含む。

[0030] 質問３１は、例えば、保険契約者の傷病又は検査の有無に関する質問である。ここでは、ユーザは、カーソルＣを移動させ、質問３１に回答しつつ各告知項目の告知内容を入力することになる。ラジオボタン３２は、質問３１に対する回答をユーザが選択するためのものである。質問３１に対する回答として、「はい」を示すラジオボタン３２が選択されると、当該質問３１に係る各種告知項目（ユーザが告知すべき内容の種別）の告知内容をユーザが

入力するための入力フォームが、告知内容入力画面 30 に表示される。

[0031] 図 3 は、「はい」を示すラジオボタン 32 A が選択された場合の告知内容入力画面 30 の一例を示す図である。図 3 に示すように、質問 31 A に係る告知項目は複数あり、これら複数の告知項目の各々について、ユーザが告知内容を入力するための入力フォームが表示される。告知項目は、保険契約者の健康状態についてユーザが告知すべき事項であり、各質問 31 毎に複数の告知項目が定められている。なお、ユーザが「いいえ」を示すラジオボタン 32 A を選択した場合には、これら入力フォームは表示されない。

[0032] 名称入力フォーム 33 A は、保険契約者の傷病名又は検査名について、ユーザによる入力を受け付けるための領域である。例えば、ユーザは、操作部 12 を操作して、保険契約者の現在又は過去の傷病名又は検査名を示す文字列を名称入力フォーム 33 A に入力する。なお、傷病名又は検査名の候補を予め HTML データに含めておき、プルダウンメニュー等からユーザに傷病名又は検査名を選択させるようにしてもよい。

[0033] 期間入力フォーム 34 A は、保険契約者の傷病の治療期間又は検査の検査期間について、ユーザによる入力を受け付けるための領域である。例えば、ユーザは、操作部 12 を操作して、期間入力フォーム 34 A のプルダウンメニューから治療期間又は検査期間を選択することによって、期間入力フォーム 34 A に治療期間又は検査期間を入力する。なお、プルダウンメニューに表示される数値は、HTML データに含まれているものとする。また、プルダウンメニューを使用せずに、期間入力フォーム 34 A に対してユーザに数値を直接入力させるようにしてもよい。

[0034] 状態入力フォーム 35 A は、保険契約者の傷病又は検査の現在の状態について、ユーザによる入力を受け付けるための領域である。ここでは、予め複数種類の状態（図 3 の場合、「完治」、「治療中」、及び「経過観察中」の 3 種類）が用意されている。状態入力フォーム 35 A は、これら複数種類の状態の何れかをユーザが選択するための領域である。例えば、ユーザは、操作部 12 を操作して、状態入力フォーム 35 A のラジオボタンの何れかを選

択することによって、保険契約者の傷病又は検査の現在の状態を入力する。
なお、ラジオボタンを使用せずに、チェックボックスを使用してもよいし、
状態入力フォーム 35 A に対してユーザに文字列を直接入力させるようにしてもよい。

[0035] 内容入力フォーム 36 A は、保険契約者の治療内容又は検査内容について、ユーザによる入力を受け付けるための領域である。予め複数種類の治療内容又は検査内容（図 3 の場合、「検査・診察・問診」、「投薬」、「通院」、「入院」、及び「手術」の 5 種類）が用意されている。内容入力フォーム 36 A は、これら複数種類の治療内容又は検査内容の何れかをユーザが選択するためのものである。例えば、ユーザは、操作部 12 を操作して、内容入力フォーム 36 A のチェックボックスの少なくとも一つを選択することによって、保険契約者の治療内容又は検査内容を入力する。なお、チェックボックスを使用せずに、ラジオボタンを使用してもよいし、内容入力フォーム 36 A に対してユーザに文字列を直接入力させるようにしてもよい。

[0036] 医療機関入力フォーム 37 A は、保険契約者の治療又は検査が行われた医療機関の名称について、ユーザによる入力を受け付けるための領域である。例えば、ユーザは、操作部 12 を操作して、医療機関名を示す文字列を医療機関入力フォーム 37 A に入力する。

[0037] 詳細入力フォーム 38 A は、保険契約者の治療又は検査の詳細について、ユーザによる入力を受け付けるための領域である。例えば、ユーザは、操作部 12 を操作して、保険契約者の治療又は検査の詳細を示す文字列を医療機関入力フォーム 37 A に入力する。医療機関入力フォーム 37 A に入力される内容としては、保険契約者の傷病の原因や症状、検査理由や検査経過、現在の状況、投薬がある場合は薬名等である。

[0038] ユーザは、質問 31 A の各告知項目に対して告知内容の入力を終わると、次の質問 31 B に対応するラジオボタン 32 B を選択し、質問 31 B に対する回答を行う。上記と同様に、質問 31 B に対して「はい」を示すラジオボタン 32 B が選択されると、ユーザが告知内容を入力するための各種入力フ

フォームが告知内容入力画面 30 に表示される。

[0039] 図 4 は、「はい」を示すラジオボタン 32 B が選択された場合の告知内容入力画面 30 の一例を示す図である。図 4 に示すように、ユーザが質問 31 B に関する告知内容を入力する場合も図 3 と同様に、名称入力フォーム 33 B、期間入力フォーム 34 B、状態入力フォーム 35 B、内容入力フォーム 36 B、医療機関入力フォーム 37 B、及び詳細入力フォーム 38 B が表示される。なお、ユーザが「いいえ」を示すラジオボタン 32 B を選択した場合には、これらの入力フォームは表示されない。

[0040] 図 4 に示すように、質問 31 A に係る告知項目と、質問 31 B に係る告知項目と、は互いに関連しており、ユーザは同じ種類の内容について入力することになる。ここでは、質問 31 A と質問 31 B とは、両者ともに、保険契約者の最近の傷病等に係る告知項目である。このため、ユーザは、名称入力フォーム 33 B 等に、再び同じ告知内容を入力する可能性が高い。そこで、本実施形態では、ユーザがカーソル C を移動させて名称入力フォーム 33 B 等をフォーカスすると、名称入力フォーム 33 A 等に入力された告知内容を引き継ぐことが可能になっている。

[0041] 図 5 は、名称入力フォーム 33 B がフォーカスされた場合の告知内容入力画面 30 の一例を示す図である。図 5 に示すように、名称入力フォーム 33 B の付近にメニュー 39 が表示される。メニュー 39 には、質問 31 A においてユーザが既に入力した告知内容が表示される。

[0042] ここでは、名称入力フォーム 33 A と名称入力フォーム 33 B とが互いに関連する告知項目であるため、メニュー 39 には、ユーザが名称入力フォーム 33 A に入力した告知内容（ここでは、傷病名又は検査名）が表示される。メニュー 39 に表示された告知内容が選択されると、当該選択された告知内容が名称入力フォーム 33 B に入力される。

[0043] 医療機関入力フォーム 37 B 及び詳細入力フォーム 38 B についても同様に、ユーザが医療機関入力フォーム 37 B 又は詳細入力フォーム 38 B にカーソル C を合わせてフォーカスすると、ユーザが医療機関入力フォーム 37

A又は詳細入力フォーム38Aに入力した告知内容が、メニュー39に表示される。そして、メニュー39に表示された告知内容をユーザが選択すると、当該選択された内容が、医療機関入力フォーム37B又は詳細入力フォーム38Bに入力される。

[0044] 上記のように、本実施形態の保険契約システムSは、ある告知項目の入力フォームに対してユーザが告知内容を入力する場合に、この入力フォームに、当該告知項目に関連する他の告知項目の入力フォームに入力された告知内容を引き継ぐことによって、ユーザの入力負担を軽減する構成になっている。以降、本技術について詳細に説明する。

[0045] [3. 情報処理装置によって実現される機能]

図6は、情報処理装置1によって実現される機能を示すブロック図である。図6に示すように、情報処理装置1においては、告知内容記憶部50、第1表示制御部52、制限部54、解除部56、入力受付部58、第2表示制御部60、第1入力制御部62、第3表示制御部64、及び第2入力制御部66が実現される。

[0046] 図6に示す各機能は、記憶部11から読み出されたプログラムと、ウェブサーバ2から受信したHTMLデータに記述されたJavaScriptと、に従って制御部10が動作することによって実現される。なお、告知内容記憶部50は、記憶部11を主として実現され、その他の機能は、制御部10を主として実現される。なお、図6に示す機能のうち、必須の機能は、第1表示制御部52、入力受付部58、第1入力制御部62、第3表示制御部64、及び第2入力制御部66であり、他の機能は省略してもよい。

[0047] [3-1. 告知内容記憶部]

告知内容記憶部50は、ユーザが入力した告知内容に関する情報を記憶する。即ち、告知内容記憶部50は、告知内容入力画面30に表示された各入力フォームに対するユーザの入力内容に関する情報を記憶する。告知内容記憶部50に記憶されたユーザの告知内容は、所与のタイミングでウェブサーバ2に送信される。

[0048] [3-2. 第1表示制御部]

第1表示制御部52は、複数の告知項目の各々の入力フォーム（例えば、名称入力フォーム33等）を画面（例えば、告知内容入力画面30）に表示させる。入力フォームは、ユーザが告知内容を入力するための画面上の領域であり、例えば、テキスト（文字列）をユーザが入力するためのテキスト入力欄、ラジオボタン、チェックボックス、プルダウン形式のセレクトボックス、リスト形式のセレクトボックス等である。

[0049] [3-3. 制限部]

制限部54は、各入力フォームに対する、ユーザによる告知内容の入力を制限する。「入力を制限する」とは、ユーザが操作をしても入力フォームに告知内容を入力（入力又は表示）しないように抑止することであり、例えば、入力フォームを一時的に非表示にすること、又は、入力フォームに対するフォーカスを制限すること等である。

[0050] [3-4. 解除部]

解除部56は、複数の告知項目の各々に関連付けられた解除操作が行われた場合、当該告知項目の入力フォームに対する入力の制限を解除する。解除操作は、予め定められた操作であり、告知項目毎に設定された所定操作である。本実施形態では、各質問31に対する回答として「はい」のラジオボタン32を選択する行為が、解除操作に相当する。

[0051] 「入力フォームに対する入力の制限を解除する」とは、ユーザの操作に応じて入力フォームに告知内容を入力する状態にすることであり、例えば、非表示の入力フォームを画面に表示させること、又は、入力フォームに対するフォーカスを許可すること等である。本実施形態においては、解除部56は、質問31に対して「はい」のラジオボタン32が選択されると、非表示であった名称入力フォーム33等を告知内容入力画面30に表示させることになる。

[0052] [3-5. 入力受付部]

入力受付部58は、各入力フォーム（例えば、名称入力フォーム33等）

に対する、ユーザによる告知内容の入力を受け付ける。入力受付部 58 は、操作部 12 からの検出信号に基づいて、テキスト入力欄に対するテキストの入力、ラジオボタンの選択、チェックボックスの選択、又はセレクトボックスの選択を受け付ける。

[0053] [3-6. 第2表示制御部]

第2表示制御部 60 は、複数の告知項目のうちの何れかの入力フォーム（例えば、名称入力フォーム 33）に対してユーザが告知内容を入力する場合、複数の告知内容候補を画面（例えば、告知内容入力画面 30）に表示させる。

[0054] 「ユーザが告知内容を入力する場合」とは、ユーザが入力フォームを選択した状態又は入力フォームに対して入力可能な状態なることであり、入力フォームがフォーカスされることである。例えば、ユーザが入力フォームにカーソルを合わせたり、セレクトボックスのプルダウンメニューを選択したりすることが、ユーザが告知内容を入力する場合に相当する。

[0055] 告知内容候補は、ユーザが入力すべき告知内容の候補であり、例えば、告知内容として入力されるべき記号列（文字列又は数字列）、又は、ユーザに選択されるべき項目である。告知内容候補は、例えば、HTML データに含まれている。例えば、ラジオボタン若しくはチェックボックスに併記される記号列、又は、セレクトボックスに表示される記号列が、告知内容候補に相当する。第2表示制御部 60 は、告知内容入力画面 30 の HTML データに含まれる複数の告知内容候補を、告知内容入力画面 30 に表示させることになる。

[0056] 本実施形態では、所与の告知項目（例えば、傷病の治療期間又は検査の検査期間）については、入力受付部 58 は、複数の告知内容候補のうちからユーザによる選択を受け付けることによって、ユーザによる告知内容の入力を受け付ける。即ち、入力受付部 58 は、告知内容入力画面 30 に表示された告知内容候補のうちユーザにより選択された告知内容候補を、ユーザが入力した告知内容として受け付けることになる。

[0057] [3 - 7. 第 1 入力制御部]

第 1 入力制御部 6 2 は、ユーザが告知内容を入力した入力フォーム（例えば、名称入力フォーム 3 3 等）に、当該告知内容を入力する。「告知内容を入力する」とは、告知内容を入力フォームに表示させることであり、例えば、入力フォームに記号列を反映（表示）させること、ラジオボタン、チェックボックス、又はセレクトボックスにユーザの選択内容を反映（表示）させることである。

[0058] [3 - 8. 第 3 表示制御部]

第 3 表示制御部 6 4 は、複数の告知項目のうちの何れかの入力フォーム（例えば、名称入力フォーム 3 3 等）に対してユーザが告知内容を入力する場合、当該告知項目に関連付けられた一又は複数の他の告知項目の入力フォームに対してユーザが入力した告知内容を画面（例えば、告知内容入力画面 3 0）に表示させる。

[0059] 図 7 は、一の告知項目と他の告知項目との関連付けを示す図である。図 7 に示す関連付けは、告知内容入力画面 3 0 の HTML データに定義されている。ここでは、告知項目の性質（種類）に基づいて複数のグループに分類分けされており、各グループには、一又は複数の告知項目が属する。同じグループに属する告知項目同士が、互いに関連付けられた告知項目となる。

[0060] 第 3 表示制御部 6 4 は、当該 HTML データに定義された関連付けを参照し、ユーザによる入力対象の告知項目に関連付けられた他の告知項目を特定する。そして、第 3 表示制御部 6 4 は、告知内容記憶部 5 0 を参照し、上記特定された他の告知項目に入力されている告知内容を取得して、メニュー 3 9 に表示させることになる。例えば、入力対象の告知項目に関連付けられた他の告知項目が複数あり、かつ、これら他の告知項目の各入力フォームに告知内容が入力されている場合には、第 3 表示制御部 6 4 は、これら入力された複数の告知内容を、メニュー 3 9 においてリスト化させて表示させる。

[0061] この場合、入力受付部 5 8 は、メニュー 3 9 に表示された告知内容のうちからユーザによる選択を受け付けることになる。入力受付部 5 8 は、操作部

12からの操作信号に基づいて、メニュー39に表示された複数の告知内容のうちの少なくとも一つの選択を受け付ける。

[0062] [3-9. 第2入力制御部]

第2入力制御部66は、複数の告知項目のうちの何れかの入力フォーム（例えば、名称入力フォーム33B）に対してユーザが告知内容を入力する場合、当該入力フォームに、当該告知項目に関連付けられた他の告知項目の入力フォーム（例えば、名称入力フォーム33A）に対してユーザが入力した告知内容を入力する。第2入力制御部66は、告知内容記憶部50を参照し、入力対象の告知項目に関連付けられた他の告知項目に入力されている告知内容を取得して、入力対象の告知項目の入力フォームに入力する。

[0063] 本実施形態では、第2入力制御部66は、メニュー39に表示された告知内容のうちユーザにより選択された告知内容を、入力対象の告知項目の入力フォームに入力する。第2入力制御部66は、メニュー39に表示された複数の告知内容のうちからユーザが選択した告知内容を、この入力フォームに入力する。

[0064] [4. 情報処理装置において実行される処理]

図8～図10は、情報処理装置1において実行される処理の一例を示すフロー図である。図8～図10に示す処理は、制御部10が、記憶部11から読み出されたプログラム及びウェブサーバ2から取得したプログラムに従って動作することによって実行される。図8～図10に示す処理は、情報処理装置1が、ウェブサーバ2から告知内容入力画面30のHTMLデータを受信した場合に実行される。

[0065] 図8に示すように、まず、制御部10は、ウェブサーバ2から受信したHTMLデータに基づいて、告知内容入力画面30を表示部13に表示させる（S1）。告知内容入力画面30のHTMLデータは、JavaScriptを含み、例えば、複数の告知項目同士の関連付けを定義したデータと、複数の告知内容候補を示すデータと、を含む。制御部10により当該JavaScriptが実行されることによって、以降説明する処理が行われる。

- [0066] また、S 1 においては、図 2 に示す状態の告知内容入力画面 3 0 が表示部 1 3 に表示される。この状態では、ラジオボタン 3 2 がまだ選択されていないので、各質問 3 1 に対応する名称入力フォーム 3 3 等が非表示の状態となり、これら名称入力フォーム 3 3 等に対するユーザの入力が制限されていることになる。
- [0067] 制御部 1 0 は、操作部 1 2 からの操作信号に基づいて、質問 3 1 に対する回答として「はい」を示すラジオボタン 3 2 が選択されたか否かを判定する（S 2）。「はい」を示すラジオボタン 3 2 が選択されたと判定された場合（S 2 ; Y）、制御部 1 0 は、名称入力フォーム 3 3 等を告知内容入力画面 3 0 に表示させる（S 3）。S 3 においては、名称入力フォーム 3 3 等に対するフォーカスが可能な状態となるので、これら名称入力フォーム 3 3 に対するユーザの入力制限が解除されることになる。なお、ユーザが選択したラジオボタン 3 2 を識別する情報は、記憶部 1 1 に記録される。
- [0068] 制御部 1 0 は、操作部 1 2 からの操作信号に基づいて、名称入力フォーム 3 3 がフォーカスされたか否かを判定する（S 4）。名称入力フォーム 3 3 がフォーカスされたと判定された場合（S 4 ; Y）、制御部 1 0 は、記憶部 1 1 の記憶内容を参照し、他の名称入力フォーム 3 3 に対して、ユーザが既に傷病名又は検査名を入力したか否かを判定する（S 5）。
- [0069] 他の名称入力フォーム 3 3 に対してユーザがまだ傷病名又は検査名を入力していないと判定された場合（S 5 ; N）、制御部 1 0 は、操作部 1 2 からユーザが入力した文字列を、名称入力フォーム 3 3 に入力する（S 6）。S 6 においては、制御部 1 0 は、名称入力フォーム 3 3 に対してユーザが入力した文字列を、記憶部 1 1 に一時的に記録するとともに、当該文字列を、フォーカスされている名称入力フォーム 3 3 に表示させる。
- [0070] 一方、他の名称入力フォーム 3 3 に対してユーザが既に傷病名又は検査名を入力したと判定された場合（S 5 ; Y）、制御部 1 0 は、当該入力された傷病名又は検査名を含むメニュー 3 9 を生成して、告知内容入力画面 3 0 に表示させる（S 7）。

- [0071] 制御部 10 は、操作部 12 からの操作信号に基づいて、メニュー 39 に表示された傷病名又は検査名をユーザが選択したか否かを判定する（S 8）。メニュー 39 に表示された傷病名又は検査名をユーザが選択したと判定された場合（S 8 ; Y）、制御部 10 は、当該選択された傷病名又は検査名を名称入力フォーム 33 に入力する（S 9）。S 9 においては、制御部 10 は、ユーザが選択した傷病名又は検査名を示す文字列を、フォーカスされている名称入力フォーム 33 に入力された文字列として記憶部 11 に一時的に記録するとともに、当該文字列を、フォーカスされている名称入力フォーム 33 に表示させる。
- [0072] 一方、メニュー 39 に表示された傷病名又は検査名が選択されたと判定されない場合（S 8 ; N）、処理は、S 6 に移行する。
- [0073] 制御部 10 は、操作部 12 からの操作信号に基づいて、期間入力フォーム 34 がフォーカスされたか否かを判定する（S 10）。期間入力フォーム 34 がフォーカスされたと判定された場合（S 10 ; Y）、制御部 10 は、HTML データに記述された数値（告知内容候補）を、期間入力フォーム 34 のプルダウンメニューに表示させる（S 11）。S 11 においては、制御部 10 は、年月日等を示す数値を期間入力フォーム 34 のプルダウンメニューに一覧表示させる。
- [0074] 制御部 10 は、操作部 12 からの操作信号に基づいて、期間入力フォーム 34 のプルダウンメニューに表示された数値が選択されたか否かを判定する（S 12）。プルダウンメニューに表示された数値が選択されたと判定された場合（S 12 ; Y）、制御部 10 は、当該選択された数値を期間入力フォーム 34 に入力する（S 13）。S 13 においては、制御部 10 は、期間入力フォーム 34 のプルダウンメニューからユーザが選択した数値を、記憶部 11 に一時的に記録するとともに、当該数値を、フォーカスされている期間入力フォーム 34 に表示させる。
- [0075] 図 9 に移り、制御部 10 は、操作部 12 からの操作信号に基づいて、状態入力フォーム 35 のラジオボタンが選択されたか否かを判定する（S 14）

。状態入力フォーム３５のラジオボタンが選択されたと判定された場合（Ｓ１４；Ｙ）、制御部１０は、当該選択されたラジオボタンに対応する項目を、状態入力フォーム３５に入力する（Ｓ１５）。Ｓ１５においては、制御部１０は、状態入力フォーム３５のラジオボタンのうちユーザが選択した項目を識別する情報を、記憶部１１に一時的に記録するとともに、フォーカスされている状態入力フォーム３５において、当該選択されたラジオボタンを選択済みとして表示させる。

[0076] 制御部１０は、操作部１２からの操作信号に基づいて、内容入力フォーム３６のチェックボックスが選択されたか否かを判定する（Ｓ１６）。内容入力フォーム３６のチェックボックスが選択されたと判定された場合（Ｓ１６；Ｙ）、制御部１０は、当該選択されたチェックボックスに対応する項目を、内容入力フォーム３６に入力する（Ｓ１７）。Ｓ１７においては、制御部１０は、内容入力フォーム３６のチェックボックスのうちユーザが選択した項目を識別する情報を、記憶部１１に一時的に記録するとともに、フォーカスされている内容入力フォーム３６において、当該選択されたチェックボックスを選択済みとして表示させる。

[0077] 制御部１０は、医療機関入力フォーム３７がフォーカスされたか否かを判定する（Ｓ１８）。医療機関入力フォーム３７がフォーカスされたと判定された場合（Ｓ１８；Ｙ）、制御部１０は、記憶部１１の記憶内容を参照し、他の医療機関入力フォーム３７に対して、ユーザが既に医療機関の名称を入力したか否かを判定する（Ｓ１９）。

[0078] 他の医療機関入力フォーム３７に対してユーザがまだ医療機関の名称を入力していないと判定された場合（Ｓ１９；Ｎ）、制御部１０は、操作部１２から入力された文字列を、医療機関入力フォーム３７に入力する（Ｓ２０）。Ｓ２０においては、制御部１０は、医療機関入力フォーム３７に対してユーザが入力した文字列を、記憶部１１に一時的に記録するとともに、当該文字列を、フォーカスされている医療機関入力フォーム３７に表示させる。

[0079] 一方、他の医療機関入力フォーム３７に対してユーザが既に医療機関の名

称を入力したと判定された場合（Ｓ１９；Ｙ）、制御部１０は、当該入力された医療機関の名称を含むメニュー３９を生成して、告知内容入力画面３０に表示させる（Ｓ２１）。

[0080] 制御部１０は、操作部１２からの操作信号に基づいて、メニュー３９に表示された医療機関の名称がユーザにより選択されたか否かを判定する（Ｓ２２）。メニュー３９に表示された医療機関の名称がユーザにより選択されたと判定された場合（Ｓ２２；Ｙ）、制御部１０は、当該選択された医療機関の名称を医療機関入力フォーム３７に入力する（Ｓ２３）。Ｓ２３においては、制御部１０は、ユーザが選択した医療機関の名称を示す文字列を、フォーカスされている医療機関入力フォーム３７に入力された文字列として記憶部１１に一時的に記録するとともに、当該文字列を、フォーカスされている医療機関入力フォーム３７に表示させる。

[0081] 一方、メニュー３９に表示された医療機関の名称が選択されたと判定されない場合（Ｓ２２；Ｎ）、処理は、Ｓ２０に移行する。

[0082] 制御部１０は、詳細入力フォーム３８がフォーカスされたか否かを判定する（Ｓ２４）。詳細入力フォーム３８がフォーカスされたと判定された場合（Ｓ２４；Ｙ）、制御部１０は、記憶部１１の記憶内容を参照し、他の詳細入力フォーム３８に対して、ユーザが既に傷病又は検査の詳細を入力したか否かを判定する（Ｓ２５）。

[0083] 他の詳細入力フォーム３８に対してユーザがまだ傷病又は検査の詳細を入力していないと判定された場合（Ｓ２５；Ｎ）、制御部１０は、操作部１２から入力された文字列を、詳細入力フォーム３８に入力する（Ｓ２６）。Ｓ２６においては、制御部１０は、詳細入力フォーム３８に対してユーザが入力した文字列を、記憶部１１に一時的に記録するとともに、当該文字列を、フォーカスされている詳細入力フォーム３８に表示させる。

[0084] 一方、他の詳細入力フォーム３８に対してユーザが既に傷病又は検査の詳細を入力したと判定された場合（Ｓ２５；Ｙ）、制御部１０は、当該入力された傷病又は検査の詳細を含むメニュー３９を生成して、告知内容入力画面

30に表示させる（S27）。

[0085] 制御部10は、操作部12からの操作信号に基づいて、メニュー39に表示された傷病又は検査の詳細がユーザにより選択されたか否かを判定する（S28）。メニュー39に表示された傷病又は検査の詳細がユーザにより選択されたと判定された場合（S28；Y）、制御部10は、当該選択された傷病又は検査の詳細を詳細入力フォーム38に入力する（S29）。S29においては、制御部10は、ユーザが選択した傷病又は検査の詳細を示す文字列を、フォーカスされている詳細入力フォーム38に入力された文字列として記憶部11に一時的に記録するとともに、当該文字列を、フォーカスされている詳細入力フォーム38に表示させる。

[0086] 一方、メニュー39に表示された傷病又は検査の詳細が選択されたと判定されない場合（S28；N）、処理は、S26に移行する。

[0087] 図10に移り、制御部10は、次へボタン40が選択されたか否かを判定する（S30）。次へボタン40が選択されたと判定された場合（S30；Y）、制御部10は、記憶部11の記憶内容を参照し、全ての質問31のラジオボタン32が選択されたか否かを判定する（S31）。

[0088] 全てのラジオボタン32が選択されたと判定された場合（S31；Y）、制御部10は、記憶部11の記憶内容を参照し、全ての告知項目が回答されたか否かを判定する（S32）。S32においては、制御部10は、全ての告知項目について、ユーザが告知内容を入力したか否かを判定することになる。

[0089] 全ての告知項目が回答されたと判定された場合（S32；Y）、制御部10は、ウェブサーバ2に次の画面の表示要求を送信し（S33）、処理は終了する。なお、記憶部11に記録された各種告知内容は、所定タイミングでウェブサーバ2に送信される。

[0090] 一方、選択されていないラジオボタン32があると判定された場合（S31；N）、及び、回答していない告知項目があると判定された場合（S32；N）、制御部10は、エラー画像を表示部13に表示させ（S34）、処

理はS 2に戻る。この場合、ユーザがまだ告知内容を入力していない告知項目の入力が受け付けられることになる。

[0091] 以上説明した保険契約システムSによれば、ユーザが質問3 1に対する告知内容を回答する場合に、他の質問3 1で既に入力した告知内容を引き継ぐことによって、ユーザによる負担を軽減することができる。また、他の質問3 1で既に入力した告知内容を引き継ぐ際に、メニュー3 9に表示された告知内容からユーザに選択させることができる。

[0092] [5. 変形例]

なお、本発明は、以上説明した実施形態に限定されるものではなく、本発明の趣旨を逸脱しない範囲で適宜変更可能である。

[0093] 図1 1は、変形例における機能ブロック図である。図1 1に示すように、変形例においては、実施形態の機能に加えて、第1判定部6 8、決定部7 0、第2判定部7 2、及びみなし部7 4が実現される。これらの各機能は、制御部1 0を主として実現される。

[0094] (1) 例えば、告知内容入力画面3 0のHTMLデータにおいて、各質問3 1毎に異なるJavaScriptを記載しておき、ユーザがフォーカスした入力フォームに告知内容を引き継ぐための処理内容が、各質問3 1毎に異なるようにしてもよい。即ち、ある告知項目の入力フォームに入力された告知内容が所与の条件を満たす場合にのみ、当該告知内容が他の告知項目の入力フォームに引き継がれるようにしてもよい。

[0095] 図1 2は、各告知項目に定められた条件の一例を示す図である。図1 2に示すように、変形例(1)では、各告知項目には、他の告知項目に入力される告知内容に関する条件が定められている。ある告知項目に定められた条件が満たされる場合、当該告知項目に、他の告知項目の告知内容が引き継がれることになる。この条件は、保険契約者の健康状態が所与の状態であるか否かを示す条件であり、他の告知項目の告知内容が所与の内容であるか否かを示す条件である。

[0096] (1-1) 例えば、質問3 1 Bは入院に関する質問であるので、質問3 1

Aの内容入力フォーム36Aにおいて、ユーザが「入院」のチェックボックスを選択していなければ、質問31Aにおいて入力された告知内容は、質問31Bの告知項目に引き継がなくてもよいことになる。このため、ユーザが入力した治療内容又は検査内容に応じて、告知内容を引き継ぐか否かが決定されるようにしてもよい。

[0097] 変形例(1-1)の情報処理装置1は、第1判定部68及び決定部70を含む。第1判定部68は、複数の告知項目のうちの何れかの入力フォームに対してユーザが告知内容を入力する場合、当該入力対象の告知項目に関連付けられた他の告知項目の入力フォームに入力された告知内容が、当該入力対象の告知項目に係る内容であるか否かを判定する。

[0098] 第1判定部68は、入力対象の告知項目に関連付けられた他の告知項目の入力フォームに入力された傷病の治療内容又は検査の検査内容が、入力対象の告知項目に係る内容であるか否かを判定する。入力対象の告知項目に係る内容とは、所与の種類の治療内容又は所与の種類の検査内容であり、入力対象の質問31の内容に係る治療内容又は検査内容である。

[0099] ここでは、第1判定部68は、告知内容記憶部50の記憶内容を参照し、入力対象の告知項目に関連付けられた他の告知項目に係る傷病の治療内容又は検査の検査内容を特定する。第1判定部68は、当該特定した治療内容又は検査内容と、入力対象の告知項目に定められた内容(図12に示す条件)と、を比較することになる。

[0100] 例えば、質問31Bのように、保険契約者の入院に係る告知項目であれば、所与の治療内容又は所与の検査内容は、入院となる。また例えば、質問31Cのように、保険契約者の手術に係る告知項目であれば、所与の治療内容又は所与の検査内容は、手術となる。また例えば、質問31D, 31Eのように、保険契約者の検査に係る告知項目であれば、所与の治療内容又は所与の検査内容は、検査となる。

[0101] 決定部70は、第1判定部68の判定結果に基づいて、第2入力制御部66による処理を実行するか否かを決定する。決定部70は、他の告知項目の

入力フォームに入力された告知内容が入力対象の告知項目に係る内容であると判定された場合、第２入力制御部６６による処理を実行すると決定し、他の告知項目の入力フォームに入力された告知内容が入力対象の告知項目に係る内容でないと判定された場合、第２入力制御部６６による処理を実行しないと決定する。「第２入力制御部６６による処理を実行しない」とは、第２入力制御部６６が入力フォームに告知内容を入力することを制限（抑止）することである。

[0102] 変形例（１）によれば、入力対象の告知項目と関係性の薄い傷病内容又は検査内容に関する告知内容が引き継がれることを防止することができる。

[0103] （１－２）また例えば、質問３１Ｈはガンに関する質問であるので、他の質問３１Ａ～３１Ｇにおいて、ガンに関する告知内容が入力されていなければ、これらの告知内容は、質問３１Ｈの告知項目に引き継がなくてもよいことになる。このため、ユーザが入力した傷病名又は検査名に応じて、告知内容を引き継ぐか否かが決定されるようにしてもよい。

[0104] 変形例（１－２）の第１判定部６８は、入力対象の告知項目に関連付けられた他の告知項目の入力フォームに入力された傷病の名称又は検査の名称が、入力対象の告知項目に係る名称であるか否かを判定する。入力対象の告知項目に係る名称とは、入力対象の質問３１に係る傷病の名称又は検査の名称である。例えば、質問３１Ｈのように、ガンに関する告知項目であれば、所与の傷病の名称又は検査の名称は、「ガン」又は「がん」又は「癌」の文字列となる。

[0105] ここでは、第１判定部６８は、告知内容記憶部５０の記憶内容を参照し、入力対象の告知項目に関連付けられた他の告知項目に係る傷病の名称又は検査の名称を特定する。第１判定部６８は、当該特定した傷病の名称又は検査の名称と、入力対象の告知項目に定められた内容（図１２に示す条件）と、を比較することになる。例えば、当該比較処理は、特定の文字列（例えば、「ガン」等）との一致判定処理（前方一致又は後方一致を含む）である。

[0106] 決定部７０は、他の告知項目の入力フォームに入力された告知内容が入力

対象の告知項目に係る内容であると判定された場合、第2入力制御部66による処理を実行すると決定し、他の告知項目の入力フォームに入力された告知内容が入力対象の告知項目に係る内容でないと判定された場合、第2入力制御部66による処理を実行しないと決定する。

[0107] 変形例(1-2)によれば、入力対象の告知項目と関係性の薄い傷病名又は検査名に関する告知内容が引き継がれることを防止することができる。

[0108] (1-3) また例えば、質問31Bは過去5年以内の健康状態に関する質問であるので、他の質問31において、過去5年以内の健康状態に関する告知内容が入力されていなければ、これらの告知内容は、質問31Bの告知項目に引き継がなくてもよいことになる。このため、ユーザが入力した傷病又は検査に係る期間に応じて、告知内容を引き継ぐか否かが決定されるようにしてもよい。

[0109] 変形例(1-3)の第1判定部68は、入力対象の告知項目に関連付けられた他の告知項目の入力フォームに入力された傷病の治療期間又は検査の検査期間が、入力対象の告知項目に係る期間であるか否かを判定する。入力対象の告知項目に係る期間とは、入力対象の質問31の内容に含まれる期間である。例えば、質問31Bのように、過去5年以内の健康状態に関する告知項目であれば、現時点の5年前から現時点までの期間が、告知項目に係る期間となる。また例えば、質問31Dのように、過去2年以内の健康状態に関する告知項目であれば、現時点の2年前から現時点までの期間が、告知項目に係る期間となる。

[0110] ここでは、第1判定部68は、告知内容記憶部50の記憶内容を参照し、入力対象の告知項目に関連付けられた他の告知項目に係る傷病の治療期間又は検査の検査期間を特定する。第1判定部68は、当該特定した傷病の治療期間又は検査の検査期間と、入力対象の告知項目に定められた内容(図12に示す条件)と、を比較することになる。

[0111] 決定部70は、他の告知項目の入力フォームに入力された傷病の治療期間又は検査の検査期間が入力対象の告知項目に係る期間であると判定された場

合、第2入力制御部66による処理を実行すると決定し、他の告知項目の入力フォームに入力された傷病の治療期間又は検査の検査期間が入力対象の告知項目に係る期間でないと判定された場合、第2入力制御部66による処理を実行しないと決定する。

[0112] 変形例(1-3)によれば、入力対象の告知項目と関係性の薄い期間に関する告知内容が引き継がれることを防止することができる。

[0113] (2) また例えば、期間入力フォーム34に表示されるプルダウンメニューにおいて、他の告知項目で入力された期間を優先的に表示させることによって、当該期間を選択しやすくするようにしてもよい。

[0114] 変形例(2)の第2表示制御部60は、ユーザが告知内容を入力する入力対象の告知項目に関連付けられた他の告知項目の入力フォームに入力された告知内容候補を、他の告知内容候補よりも優先的に表示させる。優先的に表示とは、告知内容候補が表示される順番を早くすることであり、告知内容候補が表示される位置を所定の位置にすることである。

[0115] 変形例(2)によれば、他の告知項目の入力フォームに入力された告知内容候補を優先的に表示させることができる。

[0116] (3) また例えば、告知内容入力画面30においては、ラジオボタン32を選択して質問31に回答すると、当該質問31に関連する告知項目の告知内容の入力が解除されるようになるが、ユーザが入力した告知内容に応じて、他の告知項目の告知内容の入力が解除されるようにしてもよい。例えば、内容入力フォーム36Aにおいて「入院」が選択された場合、質問31Bに対する回答として「はい」のラジオボタン32Bが選択される可能性が高い。そこで、内容入力フォーム36Aにおいて「入院」が選択された場合に、自動的に、「はい」のラジオボタン32Bが選択されたものとみなして、名称入力フォーム33B等を表示させるようにしてもよい。

[0117] 変形例(3)の保険契約システムSは、第2判定部72及びみなし部74を含む。第2判定部72は、入力の制限が解除された入力フォームに対してユーザが告知内容を入力した場合、当該入力された告知内容が、他の告知項

目に係る内容であるか否かを判定する。

[0118] 他の告知項目に係る内容とは、他の告知項目に関連付けられた告知内容であり、他の告知項目において告知すべき内容である。例えば、所与の傷病名又は検査名、所与の期間、傷病又は検査の所与の状態、所与の治療内容又は検査内容、所与の医療機関名等が、他の告知項目に係る内容といえる。他の告知項目に係る内容は、HTMLデータのJavaScriptに定義されている。第2判定部72は、ユーザが入力した告知内容と、他の告知項目に係る内容と、を比較して両者が一致するか否かを判定する。

[0119] みなし部74は、第2判定部72の判定結果に基づいて、他の告知項目の解除操作が行われたものとみなす。「解除操作が行われたものとみなす」とは、解除操作が行われた場合の処理を実行することであり、ここでは、告知内容の入力の制限を解除することである。みなし部74は、ユーザが入力した告知内容と他の告知項目に係る内容とが一致する場合、当該他の告知項目に対する入力の制限を解除する。

[0120] 変形例(3)によれば、ユーザが告知項目の入力に関する解除操作をする場合の負担を軽減することができる。

[0121] (4) また例えば、全ての告知項目についてユーザによる入力を求めるようにしてもよいし、所定の告知項目については入力を求めなくてもよい。

[0122] また例えば、名称入力フォーム33Bに、名称入力フォーム33Aの告知内容が引き継がれる場合に、質問33Bの他の入力フォームに、質問33Aの他の入力フォームに入力された告知内容を全て引き継ぐようにしてもよい。

請求の範囲

- [請求項1] 保険契約者の健康状態に関する告知内容の入力を受け付ける情報処理装置であって、
- 複数の告知項目の各々の入力フォームを画面に表示させる表示制御手段と、
- 各入力フォームに対する、ユーザによる告知内容の入力を受け付ける受付手段と、
- 前記ユーザが告知内容を入力した入力フォームに、当該告知内容を入力する第1入力制御手段と、
- 前記複数の告知項目のうちの何れかの入力フォームに対して前記ユーザが告知内容を入力する場合、当該入力フォームに、当該告知項目に関連付けられた他の告知項目の入力フォームに入力された告知内容を入力する第2入力制御手段と、
- を含むことを特徴とする情報処理装置。
- [請求項2] 前記情報処理装置は、
- 前記複数の告知項目のうちの何れかの入力フォームに対して前記ユーザが告知内容を入力する場合、当該告知項目に関連付けられた一又は複数の他の告知項目の入力フォームに入力された告知内容を前記画面に表示させる手段と、
- 当該表示された告知内容のうちから前記ユーザによる選択を受け付ける手段と、
- を更に含み、
- 前記第2入力制御手段は、前記入力フォームに、前記表示された告知内容のうちから前記ユーザにより選択された告知内容を入力する、
- ことを特徴とする請求項1に記載の情報処理装置。
- [請求項3] 前記情報処理装置は、
- 前記複数の告知項目のうちの何れかの入力フォームに対して前記ユーザが告知内容を入力する場合、当該入力対象の告知項目に関連付け

られた他の告知項目の入力フォームに入力された告知内容が、当該入力対象の告知項目に係る内容であるか否かを判定する判定手段と、

前記判定手段の判定結果に基づいて、前記第2入力制御手段による処理を実行するか否かを決定する手段と、

を更に含むことを特徴とする請求項1に記載の情報処理装置。

[請求項4]

前記受付手段は、前記保険契約者の傷病の治療内容又は検査の検査内容について、前記ユーザによる入力を受け付け、

前記判定手段は、前記入力対象の告知項目に関連付けられた他の告知項目の入力フォームに入力された前記傷病の治療内容又は前記検査の検査内容が、前記入力対象の告知項目に係る内容であるか否かを判定する、

ことを特徴とする請求項3に記載の情報処理装置。

[請求項5]

前記受付手段は、前記保険契約者の傷病の名称又は検査の名称について、前記ユーザによる入力を受け付け、

前記判定手段は、前記入力対象の告知項目に関連付けられた他の告知項目の入力フォームに入力された前記傷病の名称又は前記検査の名称が、前記入力対象の告知項目に係る名称であるか否かを判定する、

ことを特徴とする請求項3に記載の情報処理装置。

[請求項6]

前記受付手段は、前記保険契約者の傷病の治療期間又は検査の検査期間について、前記ユーザによる入力を受け付け、

前記判定手段は、前記入力対象の告知項目に関連付けられた他の告知項目の入力フォームに入力された前記傷病の治療期間又は前記検査の検査期間が、前記入力対象の告知項目に係る期間であるか否かを判定する、

ことを特徴とする請求項3に記載の情報処理装置。

[請求項7]

前記情報処理装置は、

前記複数の告知項目のうちの何れかの入力フォームに対して前記ユーザが告知内容を入力する場合、複数の告知内容候補を前記画面に表示

示させる候補表示制御手段を更に含み、

前記受付手段は、前記複数の告知内容候補のうちから前記ユーザによる選択を受け付けることによって、前記ユーザによる告知内容の入力を受け付け、

前記候補表示制御手段は、前記入力対象の告知項目に関連付けられた他の告知項目の入力フォームに入力された告知内容候補を、他の告知内容候補よりも優先的に表示させる、

ことを特徴とする請求項 1 に記載の情報処理装置。

[請求項8]

前記情報処理装置は、

各入力フォームに対する、前記ユーザによる前記告知内容の入力を制限する手段と、

前記複数の告知項目の各々に関連付けられた解除操作が行われた場合、当該告知項目の入力フォームに対する入力の制限を解除する手段と、

入力の制限が解除された入力フォームに対して前記ユーザが告知内容を入力した場合、当該入力された告知内容が、他の告知項目に係る内容であるか否かを判定する手段と、

当該手段の判定結果に基づいて、前記他の告知項目の解除操作が行われたものとみなす手段と、

を更に含むことを特徴とする請求項 1 に記載の情報処理装置。

[請求項9]

保険契約者の健康状態に関する告知内容の入力を受け付ける情報処理装置の制御方法であって、

複数の告知項目の各々の入力フォームを画面に表示させる表示制御ステップと、

各入力フォームに対する、ユーザによる告知内容の入力を受け付ける受付ステップと、

前記ユーザが告知内容を入力した入力フォームに、当該告知内容を入力する第 1 入力制御ステップと、

前記複数の告知項目のうちの何れかの入力フォームに対して前記ユーザが告知内容を入力する場合、当該入力フォームに、当該告知項目に関連付けられた他の告知項目の入力フォームに入力された告知内容を入力する第2入力制御ステップと、

を含むことを特徴とする情報処理装置の制御方法。

[請求項10] 保険契約者の健康状態に関する告知内容の入力を受け付けるコンピュータを、

複数の告知項目の各々の入力フォームを画面に表示させる表示制御手段、

各入力フォームに対する、ユーザによる告知内容の入力を受け付ける受付手段、

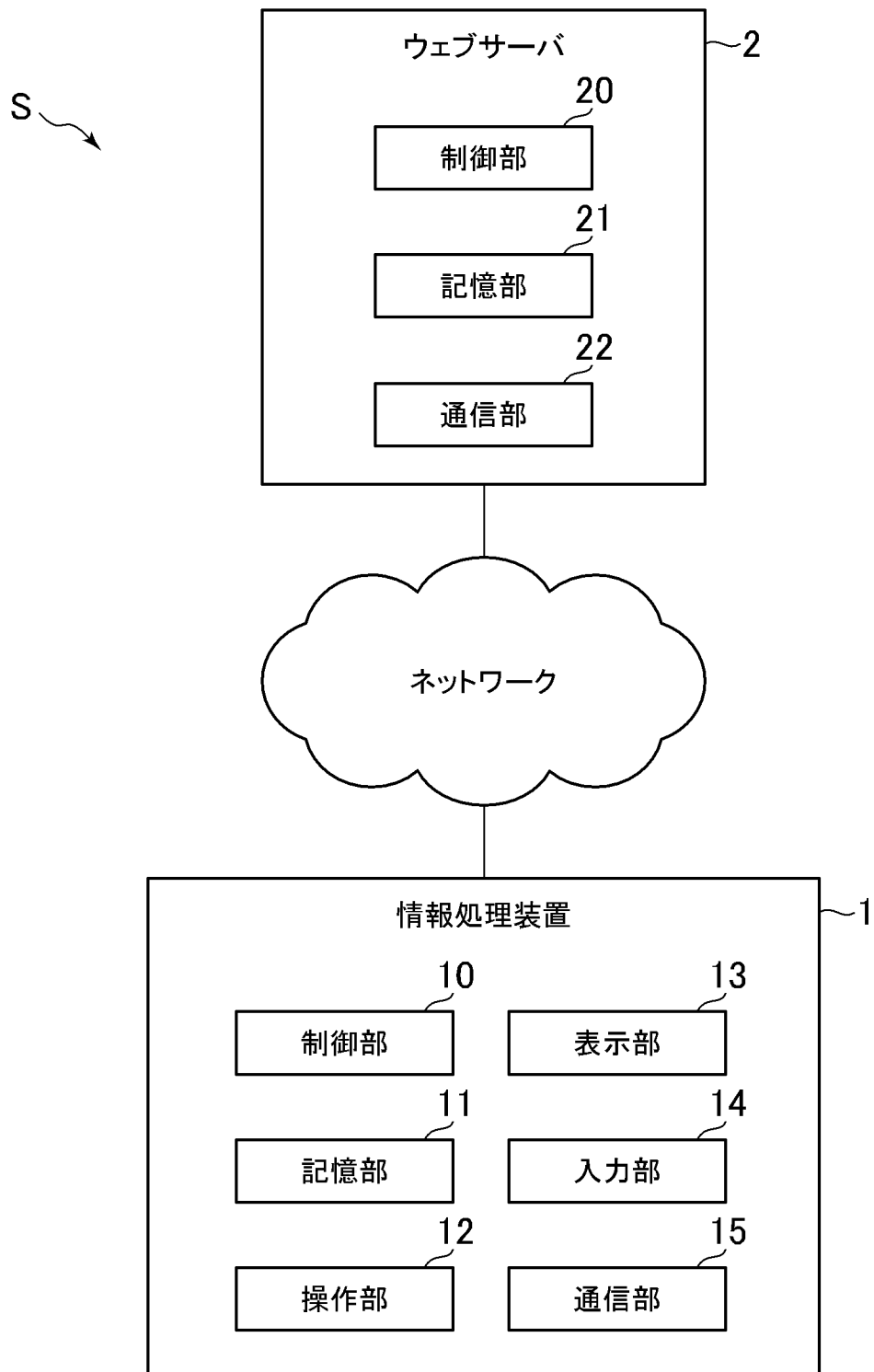
前記ユーザが告知内容を入力した入力フォームに、当該告知内容を入力する第1入力制御手段、

前記複数の告知項目のうちの何れかの入力フォームに対して前記ユーザが告知内容を入力する場合、当該入力フォームに、当該告知項目に関連付けられた他の告知項目の入力フォームに入力された告知内容を入力する第2入力制御手段、

として機能させるためのプログラム。

[請求項11] 請求項10に記載のプログラムを前記コンピュータに送信する手段を含むことを特徴とするウェブサーバ。

[図1]



[図2]

30

告知:健康状態について

現在の健康状態

1	現在を含め最近3ヶ月以内に医師の診察・検査・治療・投薬をうけたことがありますか。	31A	32A
			○いいえ ○はい

過去5年以内の健康状態

2	過去5年以内に、病気やけがで、継続して7日以上入院をしたことがありますか。	31B	32B
			○いいえ ○はい

過去5年以内に、病気やけがで、手術をうけたことがありますか。

3		31C	32C
			○いいえ ○はい

過去2年以内の健康診断

4	過去2年以内に健康診断・がん検診・人間ドックをうけたことがありますか。	31D	32D
			○うけていない ○うけた

上記項目が「うけた」の場合、異常を指摘されたことがありますか。

5		31E	32E
			○いいえ ○はい

身体の障がい

6	視力・聴力・言語・そしゃく機能に障がいがありますか。	31F	32F
			○いいえ ○はい

手・足・指について欠損または機能に障がいがありますか。

7		31G	32G
			○いいえ ○はい

がんの既往症

8	現在および今までにがんにかかったことがありますか。	31H	32H
			○いいえ ○はい

次へ ~40

[図3]

30

告知:健康状態について

現在の健康状態

1	31A 現在を含め最近3ヶ月以内に医師の診察・検査・治療・投薬をうけたことがありますか。	32A ☐ いいえ ☒ はい
---	---	--

▼ 続けて詳細をご入力下さい

傷病名・検査名	33A
治療・検査の期間および現在の状態について	34A [] ▼年 [] ▼月から [] ▼年 [] ▼月まで 35A 現在: ☐ 完治 ☐ 治療中 ☐ 経過観察中
治療内容・検査内容	36A ☐ 検査・診察・問診 ☐ 投薬 ☐ 通院 ☐ 入院 ☐ 手術
医療機関名	37A
詳細について	38A

過去5年以内の健康状態

2	31B 過去5年以内に、病気やけがで、継続して7日以上入院をしたことがありますか。	32B ☐ いいえ ☐ はい
---	--	---

3	31C 過去5年以内に、病気やけがで、手術をうけたことがありますか。	32C ☐ いいえ ☐ はい
---	---------------------------------------	---

⋮

[図4]

30

告知:健康状態について

現在の健康状態

31A
32A

1	現在を含め最近3ヶ月以内に医師の診察・検査・治療・投薬をうけたことがありますか。	○いいえ ☒ はい
---	--	--

▼ 続けて詳細をご入力下さい

傷病名・検査名	胃がん		33A
治療・検査の期間 および現在の状態 について	2010▼年 4▼月から 2010▼年 7▼月まで		34A
	現在: ☒ 完治 ☐ 治療中 ☐ 経過観察中		35A
治療内容・検査内容	☐ 検査・診察・問診 ☐ 投薬 ☐ 通院 ☒ 入院 ☒ 手術		36A
医療機関名	AAAクリニック		37A
詳細について	早期の胃がんを手術で完治しました。.....		38A

過去5年以内の健康状態

31B
32B

2	過去5年以内に、病気やけがで、継続して7日以上入院をしたことがありますか。	○いいえ ☒ はい
---	---------------------------------------	--

▼ 続けて詳細をご入力下さい

傷病名・検査名			33B
治療・検査の期間 および現在の状態 について	▼年 ▼月から ▼年 ▼月まで		34B
	現在: ☐ 完治 ☐ 治療中 ☐ 経過観察中		35B
治療内容・検査内容	☐ 検査・診察・問診 ☐ 投薬 ☐ 通院 ☐ 入院 ☐ 手術		36B
医療機関名			37B
詳細について			38B

.

.

.

[図5]

30

告知: 健康状態について

現在の健康状態

31A
32A

1	現在を含め最近3ヶ月以内に医師の診察・検査・治療・投薬を受けたことがありますか。	○いいえ ●はい
---	--	----------

▼ 続けて詳細をご入力下さい

傷病名・検査名	胃がん	33A
治療・検査の期間および現在の状態について	2010▼年 4▼月から 2010▼年 7▼月まで	34A
	現在: ●完治 ○治療中 ○経過観察中	35A
治療内容・検査内容	☐ 検査・診察・問診 ☐ 投薬 ☐ 通院 ☒ 入院 ☒ 手術	36A
医療機関名	AAAクリニック	37A
詳細について	早期の胃がんを手術で完治しました。.....	38A

過去5年以内の健康状態

31B
32B

2	過去5年以内に、病気やけがで、継続して7日以上入院をしたことがありますか。	○いいえ ●はい
---	---------------------------------------	----------

▼ 続けて詳細をご入力下さい

39

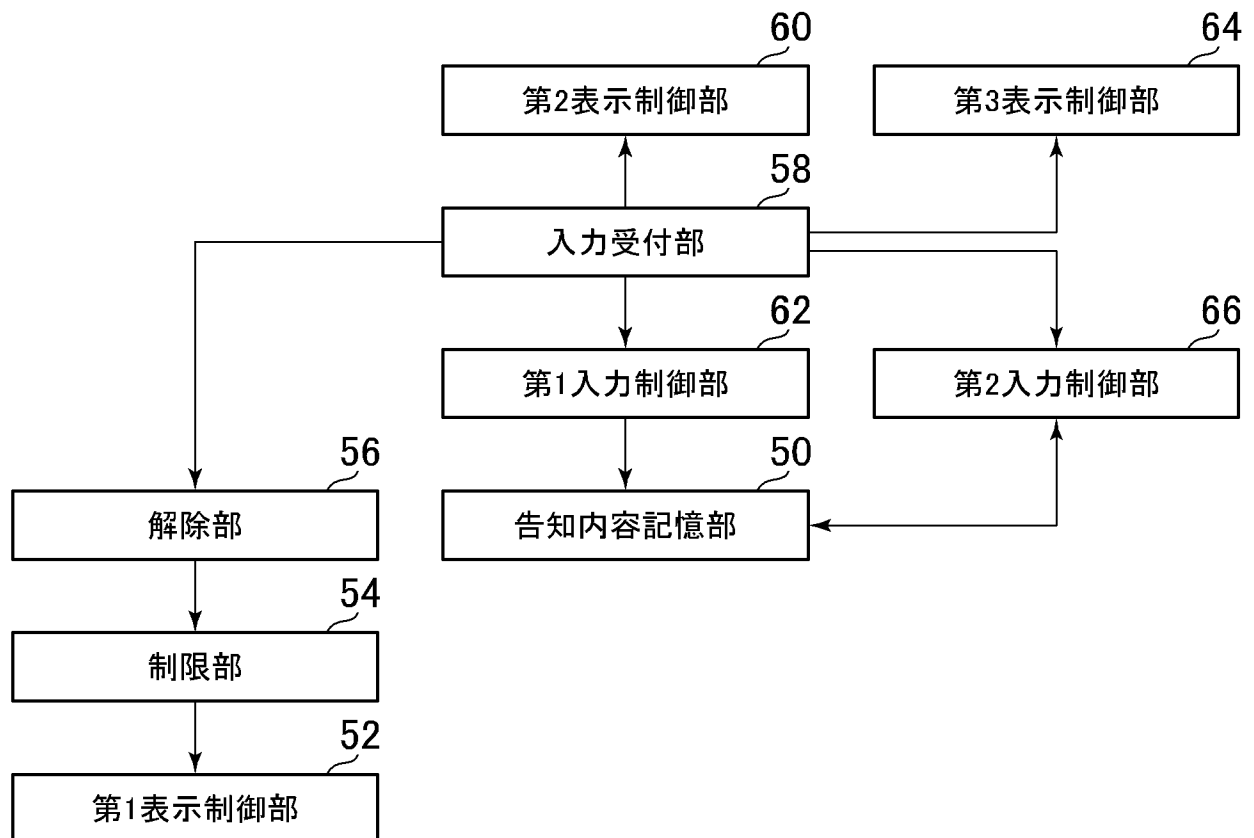
傷病名・検査名	胃がん	33B
治療・検査の期間および現在の状態について	▼月まで	34B
	現在: ○完治 ○治療中 ○経過観察中	35B
治療内容・検査内容	☐ 検査・診察・問診 ☐ 投薬 ☐ 通院 ☐ 入院 ☐ 手術	36B
医療機関名		37B
詳細について		38B

.

.

.

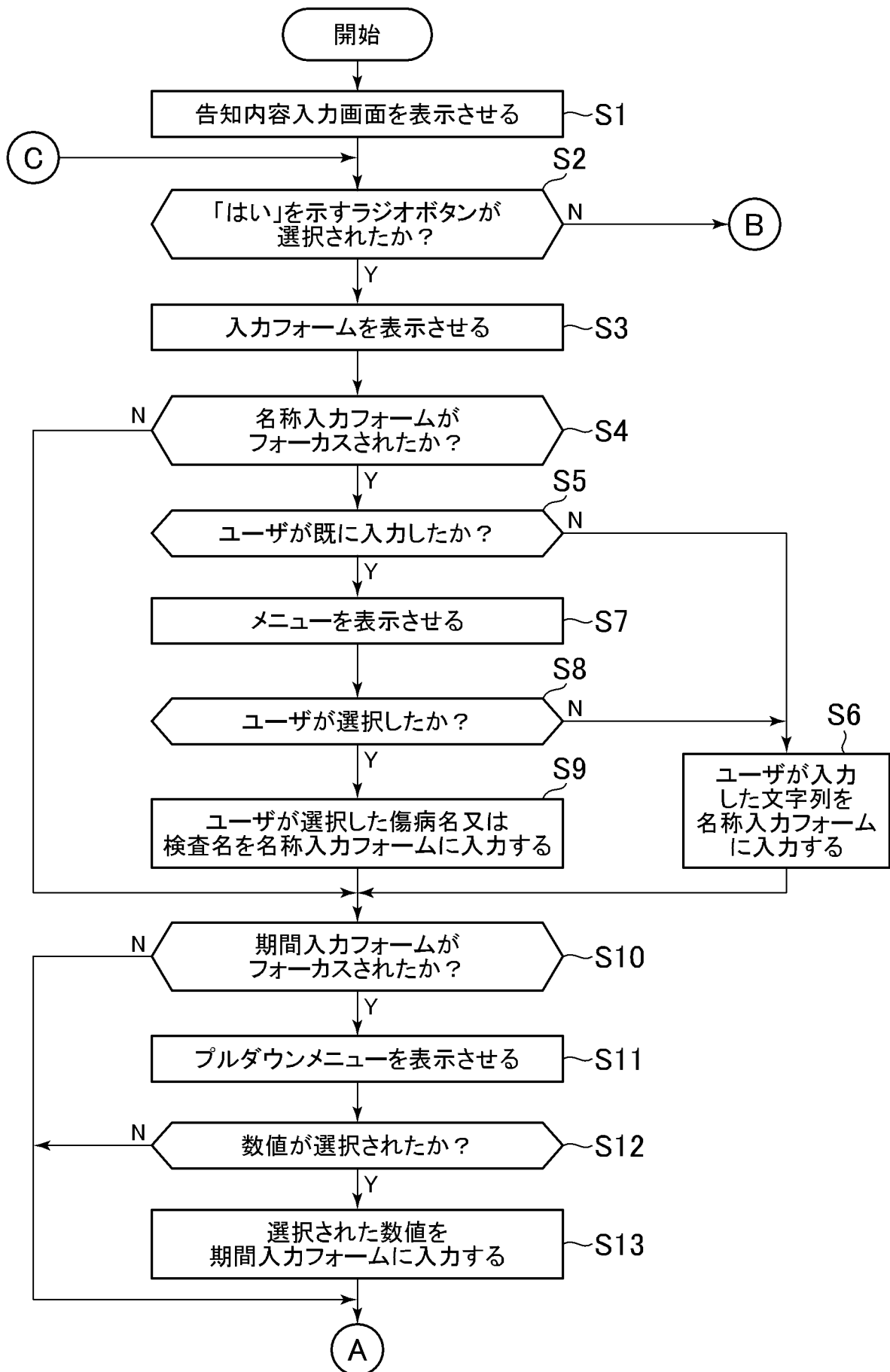
[図6]



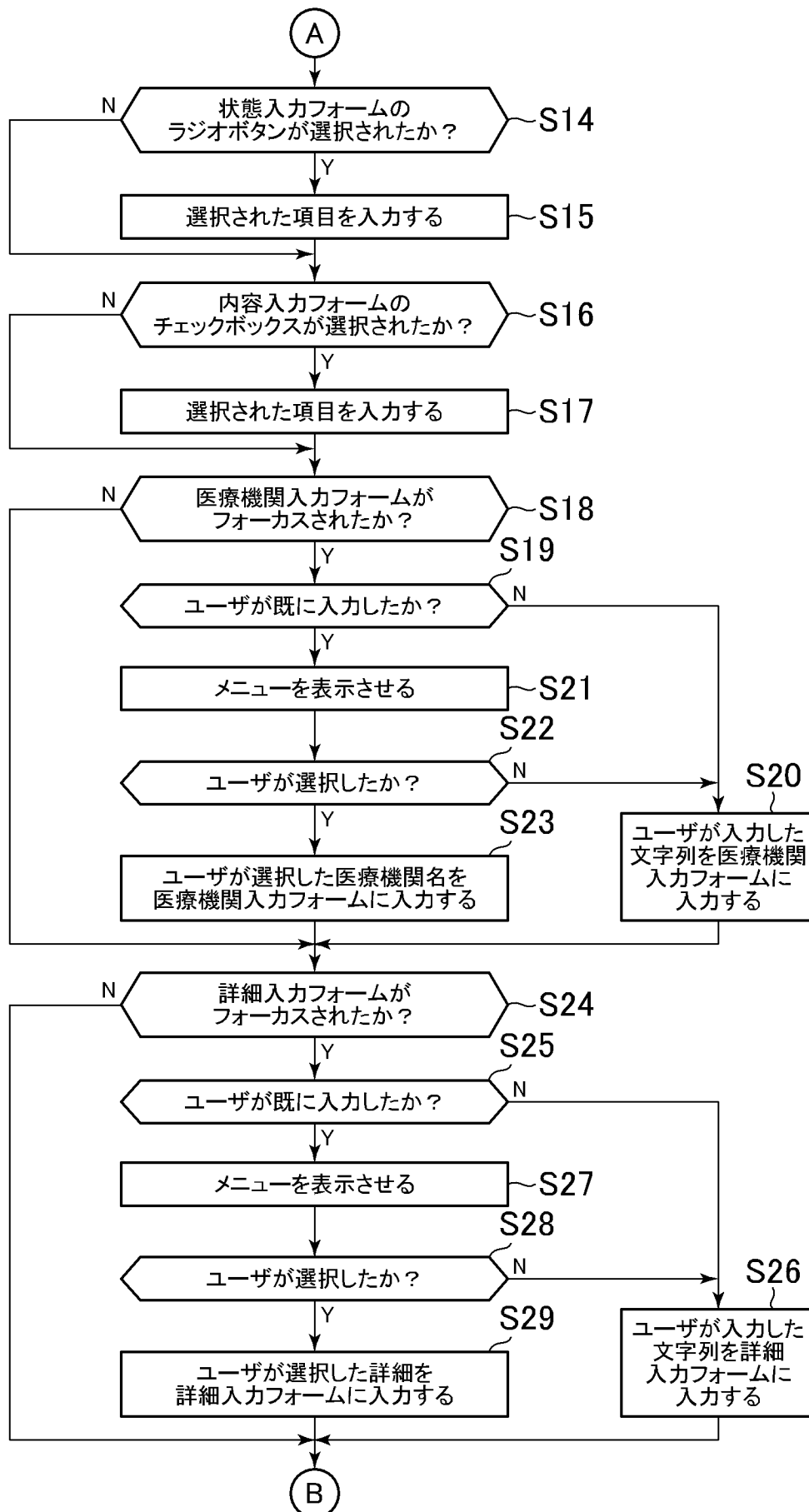
[図7]

グループ	告知項目
Disease	名称入力フォーム 33A、33B、……
Hospital	医療機関入力フォーム 37A、37B、……
Comment	詳細入力フォーム 38A、38B、……
⋮	⋮

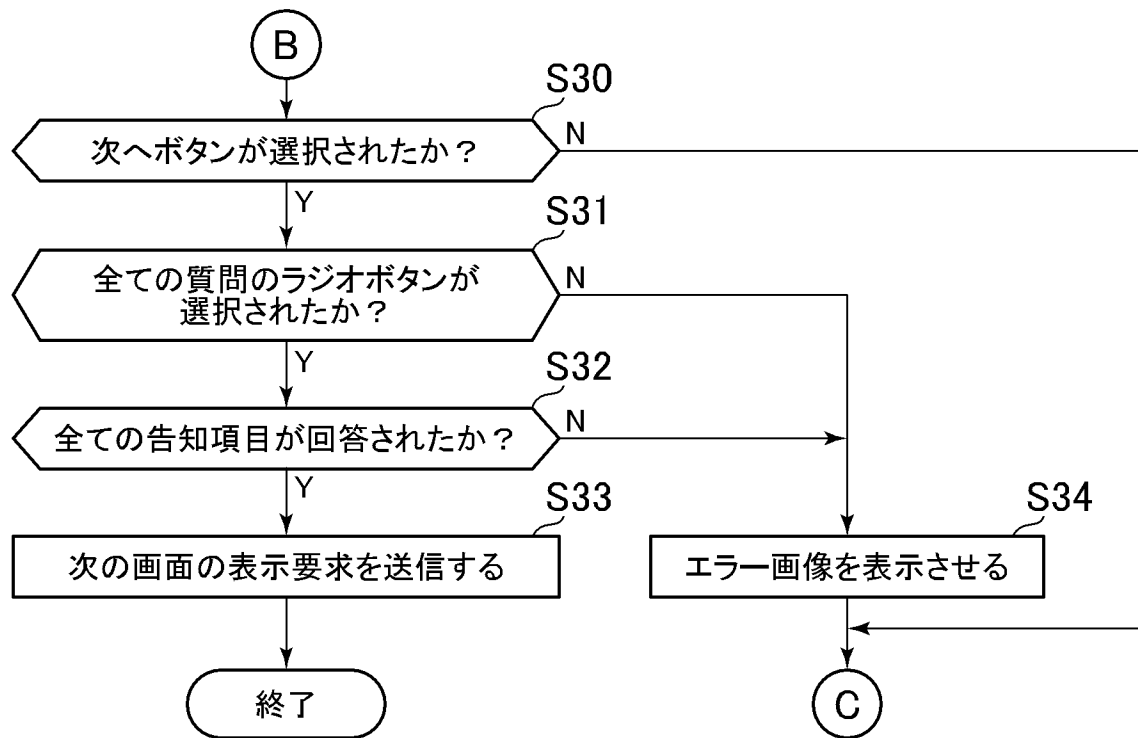
[図8]



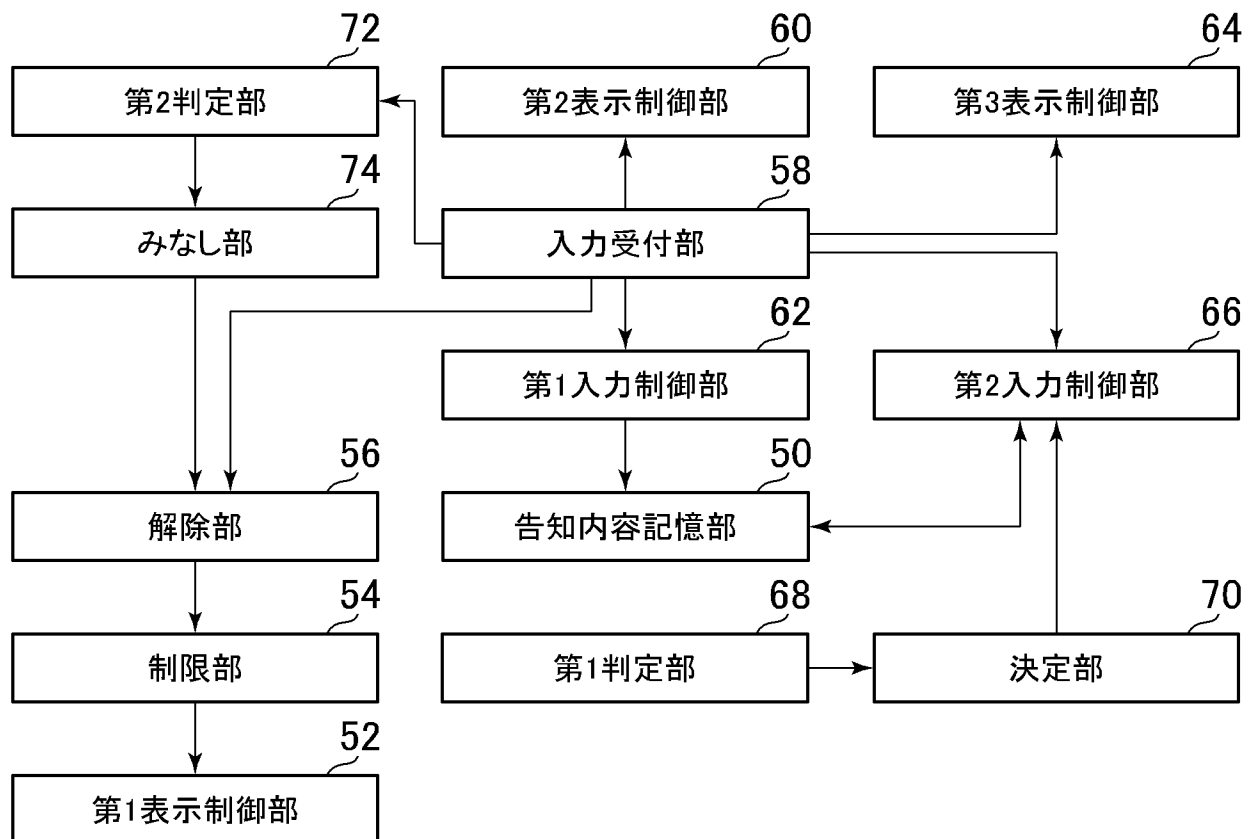
[図9]



[図10]



[図11]



[図12]

告知項目	条件
名称入力フォーム33B	他の告知項目の状態入力フォーム35において「入院」にチェックが入っている
名称入力フォーム33H	他の告知項目の名称入力フォーム33において「ガン」、「がん」、「癌」の文字がある
⋮	⋮

INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No.

PCT/JP2012/074410

A. CLASSIFICATION OF SUBJECT MATTER

G06Q50/22 (2012.01) i, G06Q40/08 (2012.01) i

According to International Patent Classification (IPC) or to both national classification and IPC

B. FIELDS SEARCHED

Minimum documentation searched (classification system followed by classification symbols)

G06Q50/22, G06Q40/08

Documentation searched other than minimum documentation to the extent that such documents are included in the fields searched

Jitsuyo Shinan Koho 1922-1996 Jitsuyo Shinan Toroku Koho 1996-2012

Kokai Jitsuyo Shinan Koho 1971-2012 Toroku Jitsuyo Shinan Koho 1994-2012

Electronic data base consulted during the international search (name of data base and, where practicable, search terms used)

C. DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT

Category*	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
Y	JP 2001-167160 A (American Family Life Assurance Company of Columbus), 22 June 2001 (22.06.2001), particularly, paragraph [0043]; fig. 12 (Family: none)	1-11
Y	JP 2004-102340 A (Tokio Marine & Nichido Life Insurance Co., Ltd.), 02 April 2004 (02.04.2004), particularly, paragraphs [0034] to [0037] (Family: none)	1-11
Y	JP 2008-299744 A (Ricoh Co., Ltd.), 11 December 2008 (11.12.2008), particularly, paragraph [0002] (Family: none)	1-11



Further documents are listed in the continuation of Box C.



See patent family annex.

* Special categories of cited documents:

"A" document defining the general state of the art which is not considered to be of particular relevance

"E" earlier application or patent but published on or after the international filing date

"L" document which may throw doubts on priority claim(s) or which is cited to establish the publication date of another citation or other special reason (as specified)

"O" document referring to an oral disclosure, use, exhibition or other means

"P" document published prior to the international filing date but later than the priority date claimed

"T" later document published after the international filing date or priority date and not in conflict with the application but cited to understand the principle or theory underlying the invention

"X" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered novel or cannot be considered to involve an inventive step when the document is taken alone

"Y" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered to involve an inventive step when the document is combined with one or more other such documents, such combination being obvious to a person skilled in the art

"&" document member of the same patent family

Date of the actual completion of the international search

04 December, 2012 (04.12.12)

Date of mailing of the international search report

18 December, 2012 (18.12.12)

Name and mailing address of the ISA/
Japanese Patent Office

Authorized officer

Facsimile No.

Telephone No.

INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No.

PCT/JP2012/074410

C (Continuation). DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT

Category*	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
Y	Akiko KITAMI, "Mendo na Data Nyuryoku o Koritsuteki ni! 'Nyuryoku Shien', 'Control' o Full Katsuyo", Nikkei PC21, 24 March 2012 (24.03.2012), vol.17 no.7, page 101	1-11
Y	JP 2012-93810 A (Hitachi, Ltd.), 17 May 2012 (17.05.2012), particularly, paragraph [0011] (Family: none)	7
Y	JP 2003-67577 A (Zurich Life Insurance Co., Ltd.), 07 March 2003 (07.03.2003), particularly, paragraphs [0133] to [0137] (Family: none)	8

A. 発明の属する分野の分類（国際特許分類（I P C））
Int.Cl. G06Q50/22 (2012.01)i, G06Q40/08 (2012.01)i

B. 調査を行った分野

調査を行った最小限資料（国際特許分類（I P C））

Int.Cl. G06Q50/22, G06Q40/08

最小限資料以外の資料で調査を行った分野に含まれるもの

日本国実用新案公報	1 9 2 2 - 1 9 9 6 年
日本国公開実用新案公報	1 9 7 1 - 2 0 1 2 年
日本国実用新案登録公報	1 9 9 6 - 2 0 1 2 年
日本国登録実用新案公報	1 9 9 4 - 2 0 1 2 年

国際調査で使用した電子データベース（データベースの名称、調査に使用した用語）

C. 関連すると認められる文献

引用文献の カテゴリー*	引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示	関連する 請求項の番号
Y	JP 2001-167160 A（アメリカン ファミリー ライフ アシュアランス カンパニー オブ コロンバス） 2001.06.22, 特に【0043】、図12（ファミリーなし）	1-11
Y	JP 2004-102340 A（東京海上日動あんしん生命保険株式会社） 2004.04.02, 特に【0034】～【0037】（ファミリーなし）	1-11
Y	JP 2008-299744 A（株式会社リコー） 2008.12.11, 特に【0002】（ファミリーなし）	1-11

☒ C欄の続きにも文献が列挙されている。

☐ パテントファミリーに関する別紙を参照。

* 引用文献のカテゴリー	の日の後に公表された文献
「A」特に関連のある文献ではなく、一般的技術水準を示すもの	「T」国際出願日又は優先日後に公表された文献であって出願と矛盾するものではなく、発明の原理又は理論の理解のために引用するもの
「E」国際出願日前の出願または特許であるが、国際出願日以後に公表されたもの	「X」特に関連のある文献であって、当該文献のみで発明の新規性又は進歩性がないと考えられるもの
「L」優先権主張に疑義を提起する文献又は他の文献の発行日若しくは他の特別な理由を確立するために引用する文献（理由を付す）	「Y」特に関連のある文献であって、当該文献と他の1以上の文献との、当業者にとって自明である組合せによって進歩性がないと考えられるもの
「O」口頭による開示、使用、展示等に言及する文献	「&」同一パテントファミリー文献
「P」国際出願日前で、かつ優先権の主張の基礎となる出願	

国際調査を完了した日
0 4 . 1 2 . 2 0 1 2

国際調査報告の発送日
1 8 . 1 2 . 2 0 1 2

国際調査機関の名称及びあて先
日本国特許庁（I S A / J P）
郵便番号100-8915
東京都千代田区霞が関三丁目4番3号

特許庁審査官（権限のある職員）	5 L	4 5 3 4
大野 朋也		
電話番号 03-3581-1101 内線 3562		

C (続き) . 関連すると認められる文献		
引用文献の カテゴリー*	引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示	関連する 請求項の番号
Y	きたみ あきこ, 面倒なデータ入力を効率的に! 「入力支援」「コントロール」をフル活用, 日経 P C 2 1 , 2012. 03. 24, 第 17 巻 第 7 号, p. 101	1-11
Y	JP 2012-93810 A (株式会社日立製作所) 2012. 05. 17, 特に【0011】 (ファミリーなし)	7
Y	JP 2003-67577 A (チューリッヒ・ライフ・インシュアランス・カンパニー・リミテッド) 2003. 03. 07, 特に【0133】～【0137】 (ファミリーなし)	8